

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

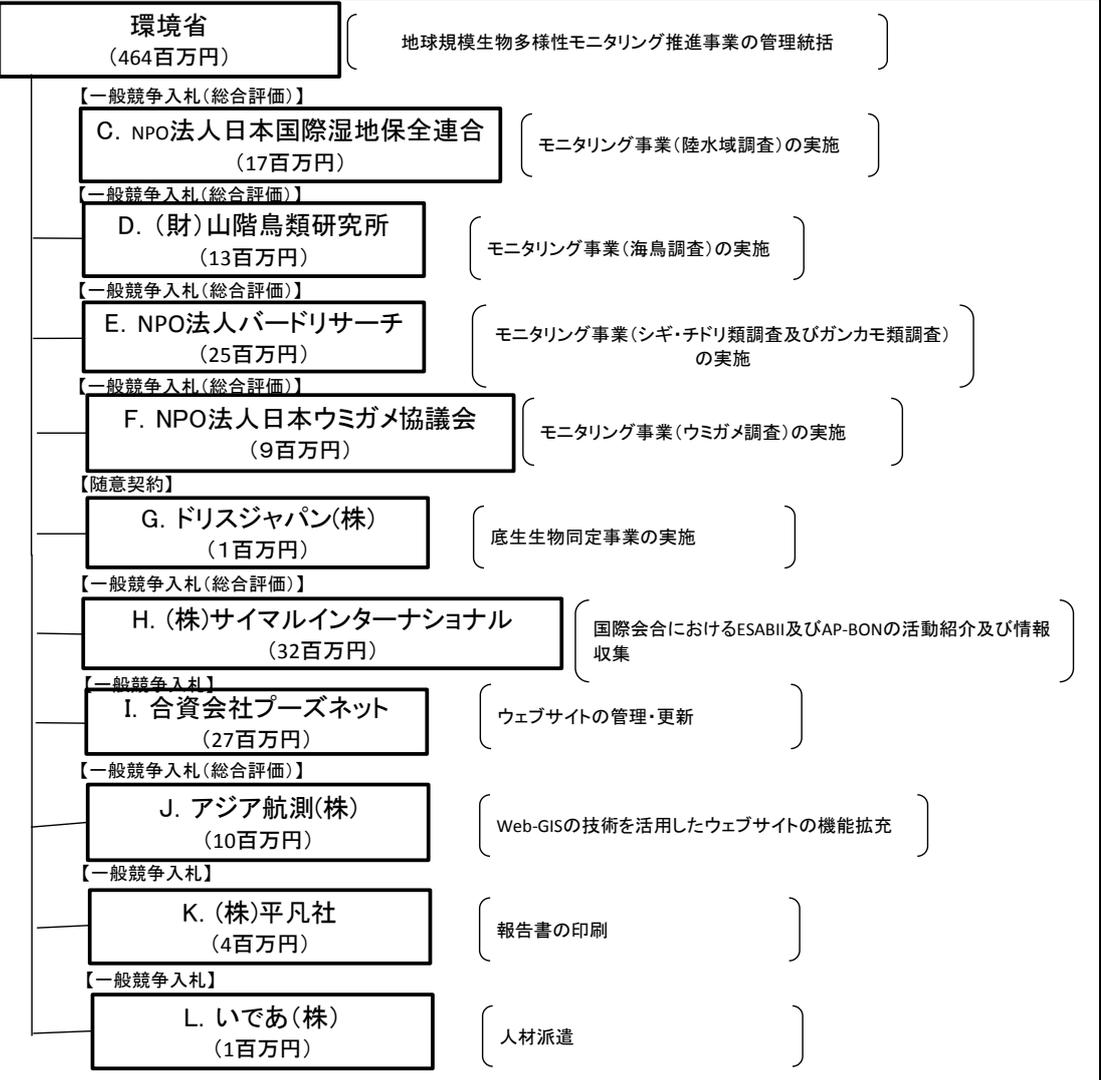
<b>事業名</b>	地球規模生物多様性モニタリング推進事業	<b>担当部局庁</b>	自然環境局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成15年度	<b>担当課室</b>	生物多様性センター	センター長 奥山 正樹			
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	自然環境保全法第4条 生物多様性基本法第22条、第26条	<b>関係する計画、通知等</b>	生物多様性国家戦略2010				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内での生物多様性に関するモニタリングの継続的な実施、主に東・東南アジア地域での生物多様性情報の収集・提供と分類学の能力向上の推進等により、生物多様性の保全に貢献する。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	○国内の様々な生態系の調査サイトにおいて、継続的に動植物やその生息環境のモニタリング調査を実施し、その変化を把握して、生物多様性保全の基礎資料を提供する。 ○主に東・東南アジア地域を対象に、研究者の連携による生物多様性観測ネットワークにおける生物多様性情報収集を支援し、政策決定者に向けて生物多様性情報を分かりやすく整備・提供するとともに、生物多様性保全に携わる人材の育成を支援する。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	290	297	500	510	440
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	290	297	500	510	440
	執行額	309	296	464			
執行率 (%)	107%	100%	93%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	モニタリングサイト1000のデータ提供サイト数。		成果実績 箇所	820	952	989	—
			達成度 %	82.6	95.2	98.4	
	地球規模モニタリングにおける情報整備対象国数。		成果実績 国数	—	—	14	—
		達成度 %	—	—	87.5		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	モニタリングサイト1000の調査サイト設定数。		活動実績 (当初見込み) 箇所	993	1,000	1,005	— (1,000)
	地球規模モニタリングにおいて情報整備した対象種数。		活動実績 (当初見込み) 種数	—	—	342	— (265)
				—	—	(265)	(260)
<b>単位当たりコスト</b>	277,743円/サイト		算出根拠	モニタリングサイト1000に関して、平成22年度執行額ベースで279,132千円のコストで、1005箇所のサイトを調査した。 279,132千円/1005サイト=277,743円/サイト			
	8,477千円/国		算出根拠	地球規模モニタリングに関して、平成22年度執行額ベースで118,667千円のコストで、14ヶ国における生物多様性データの収集・提供の支援をした。 118,667千円/14ヶ国=8,477千円/国			
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0.4百万円	0.7百万円	事業内容の重点化及び現地調査における人員の見直し			
	自然環境保全調査費	509百万円	439百万円				
	計	510百万円	440百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>生物多様性保全施策の検討及び施策の効果の把握のためには、生物の生息状況の変化等を把握するモニタリングが重要であり、本事業において国内のモニタリングを継続的に進めること、アジア太平洋地域でのモニタリングの推進への支援を進めることが重要となっている。</p> <p>事業の各請負契約の実施にあたっては、一般競争入札等の価格競争により実施しているものであり、予算の範囲内で十分な成果を上げている。今後も引き続き競争性のある契約を実施するとともに、国内の調査地点でこれまで収集されたデータの有効性を検証し、調査項目の見直しや調査頻度の見直しを検討するなど、より効果的にモニタリングに有効なデータを収集するよう努める。また、収集されたデータの効果的な発信手法について検討する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業内容を重点化することにより、予算額を節減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	事業内容の重点化及び現地調査における人員の見直しにより経費を節減し概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>事業仕分け 第1弾 事業番号1-60生物多様性の保全等の推進に必要な経費(その他) (1)地球規模生物多様性モニタリング推進事業費          評価結果:要求予算通り          (予算計上見送り1名、予算要求縮減:a半額2名、その他3名(20%1名、10%1名、5%1名)、予算要求通り7名)          コメント: 評決数の結果を踏まえ、当ワーキング・グループとしては、予算要求通りを結論としたい。          ただし、予算要求通りという意見の方も含めて、もう少しコスト削減の余地があるのではないか、というコメントがあったため、これを具体的に検討していただきたい。          また、検討をしていただいた上でコスト削減が可能であれば、これを踏まえて予算要求を縮減する可能性があることを付記する。</p>			

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)自然環境研究センター			E.NPO法人バードリサーチ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	自然環境調査費	281	雑役務費	自然環境調査費	25
計		281	計		25
B.(財)日本自然保護協会			F.NPO法人日本ウミガメ協議会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査、とりまとめなど	20	雑役務費	自然環境調査費	9
諸謝金	検討委員、現地調査主体	1			
旅費	現地調査	2			
消耗品	調査に係る備品	3			
再委託費	現地調査主体への再委託費	4			
その他	通信費、印刷製本費、会議室等賃料等	14			
計		44	計		9
C.NPO法人日本国際湿地保全連合			G.ドリスジャパン(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査、とりまとめなど	5	雑役務費	自然環境調査費	1
諸謝金	検討委員、現地調査主体	3			
旅費	現地調査	4			
その他	通信費、印刷製本費、会議室等賃料等	5			
計		17	計		1
D.(財)山階鳥類研究所			H.(株)サイマルインターナショナル		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	自然環境調査費	13	人件費	国際会合企画、運営	15
			諸謝金	委員	2
			旅費	会合	7
			その他	通信費、印刷製本費、会議室等賃料等	8
計		13	計		32

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につい  
 て記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

I.合資会社プーズネット					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	インターネット自然研究所の管理、更新	8			
諸謝金	情報収集など	4			
旅費	情報収集など	2			
その他	賃料など	13			
計		27	計		0
J.アジア航測(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	WEB-GIS整備	7			
その他	通信費等	3			
計		10	計		0
K.(株)平凡社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	印刷製本費	4			
計		4	計		0
L.いであ(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	派遣経費	1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(森林・草原調査)	80	1	96
2		平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(沿岸域調査)	71	1	99
3		平成22年度東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ情報整備業務	45	1	96
4		平成22年度地球規模生物多様性モニタリング推進事業に係る分類学能力構築業務	38	1	99
5		平成22年度生物多様性センター人材派遣業務	26	1	95
6		平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(高山帯調査)	15	1	97
7		平成22年度地球規模生物多様性モニタリング推進事業推進のための生物多様性条約第14回科学上及び技術上の助言に関する補助機関会合(SABSTTA)での情報収集等業務	4	2	66
8		平成22年度自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林調査に係る情報収集等業務	2	5	37

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本自然保護協会	平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(里地調査)	44	1	99

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人日本国際湿地保全連合	平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(陸水域調査)	17	1	99

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)山階鳥類研究所	平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(海鳥調査)	13	1	99

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人バードリサーチ	平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(シギ・チドリ類調査)	13	不落随契	—
2		平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(ガンカモ類調査)	12	不落随契	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NPO法人日本ウミガメ協議会	平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(ウミガメ調査)	9	1	96

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ドリスジャパン(株)	重要生態系監視地域モニタリング推進事業 沿岸域(干潟)調査 インベントリ及び標本作成業務	1	随意契約	—

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイマルインターナショナル	平成22年度地球規模生物多様性モニタリング推進事業関連国際会合企画運営等業務	32	1	100

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	合資会社プーズネット	平成22年度インターネット自然研究所情報管理システム更新業務	12	3	86
2		平成22年度インターネット自然研究所情報収集端末更新業務(西日本)	7	1	98
3		平成22年度インターネット自然研究所情報収集端末更新業務(東日本)	8	1	88

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アジア航測(株)	平成22年度生物多様性情報システム提供機能等拡充検討業務	10	1	93

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)平凡社	平成22年度冊子「日本の生物多様性」の印刷等業務	4	2	67

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	平成22年度那覇自然環境事務所における業務等支援事業に関する派遣業務	1	1	99